

平成29年度 府立高校特色化推進プラン検討会議 配付資料

資料

- 1 府立高校特色化推進プラン説明資料
- 2 府立高校特色化推進プラン取組状況
- 3 府立高校特色化推進プラン～魅力あふれる46の特色～
- 4 平成29年度施策一覧（平成29年度当初予算重点事業・主要事項）
- 5 平成29年度府立高校研究等指定校一覧



平成30年3月19日(月)
京都府教育委員会

府立高校特色化推進プラン

～魅力あふれる47の特色～



京都府教育委員会

平成30年3月19日
府立高校特色化推進プラン検討会議

魅力あふれる47の特色

府立高校特色化推進プラン



特色化を進める10の柱

- ① 質の高い教育
- ② 教職員の資質向上
- ③ 府民の信頼を得る学校運営
- ④ 徹底した進路保障
- ⑤ 修学の支援
- ⑥ 部活動の充実
- ⑦ 土曜日の活用
- ⑧ 多様な人間力の育成
- ⑨ 発信力・広報力の強化
- ⑩ 各校独自の施設設備の整備

特色化を進める10の柱と方向性

府立高校全体をレベルアップするための仕組み作り

グローバルな視点を持ち、
国際社会に発信できる
人材の育成

グローバルネットワーク京都(9校)

山城・鳥羽・洛西・東宇治・菟道・城南菱創・西城陽・園部・峰山

スペシャリストネットワーク京都(6校)

京都すばる・南丹・農芸・綾部(東)・工業・海洋

社会・経済構造の変化に
対応する真の職業人
(スペシャリスト)を育成

独創的な科学研究により
世界をリードできる
人材の育成

スーパーサイエンスネットワーク京都(9校)

洛北・嵯峨野・桂・桃山・南陽・亀岡・福知山・西舞鶴・宮津

京都フロンティア校(28校)

清明・鴨沂・北稜・朱雀・洛東・北嵯峨・**北桑田**・東稜・**洛水**・**向陽**・乙訓・西
乙訓・城陽・**京都八幡**・久御山・**田辺**・**木津**・**須知**・**綾部**・福知山(三和)・**大**
江・**東舞鶴**・東舞鶴(浮島)・宮津(伊根)・**加悦谷**・**網野**・網野(間人)・**久美浜**

※地域創生推進校…特に地域創生、地域連携に重点的に取り組む学校

学校が自ら設定した
テーマに基づく
先進的な取組を支援

グローバルネットワーク京都の取組

山城

山城アカデミックプロジェクト
～Seize the Day～

峰山

国際感覚をもって社会に
貢献できる生徒の育成

園部

探究・共同・表現
～学びを深める～

西城陽

社会の急激な国際化の
進行に適応し、たくましく
生きる力を養う。

城南菱創

グローバルな視点に立った
リーダーの育成
Think globally, act locally

菟道

チーム菟道でUJI(宇治)
から世界に羽ばたく

東宇治

Discover Japan
～日本の魅力探究～

洛西

グローバルな視点に立った
共生社会の構築
～日本・国際社会のリーダー育成～

鳥羽(SGH)

ソーシャル・イノベーション
で挑む
グローバル・リーダーの育成

グローバルな視点を持ち、
国際社会に発信できる
人材の育成

グローバルネットワーク京都の取組

産官学連携プログラム・論文コンテスト 英語によるプレゼンテーション、ポスターセッション

- ・経済団体や国際貢献団体等による講義と問題解決セッション
- ・大学教授や新聞記者等による論文作成講座
- ・高校生対象の研究論文コンテスト

論文コンテストに向けての取組

論文提出

外部審査員による論文審査
(1月)

国際社会と日本についての研究
国際社会に関する提言作成

グローバルネットワーク京都交流会
(提言発表: 英語によるプレゼンテーション・
ポスターセッション、論文コンテスト表彰など)
2月3日 京都工芸繊維大学にて開催

スペシャリストネットワーク京都の取組

京都すばる(SPH)

ハイスクールカンパニー
プロジェクト

海洋

だれもやってないことをやって
みませんか
～究める・広がる・展望する～

工業

オリジナルブランド
「京の工」商品の6次産業化

南丹

～地域と共に歩むものづくりの道～
ものづくりへの興味と
関心を育てる取組

社会・経済構造の変化
に対応する真の職業人
(スペシャリスト)
を育成

綾部(東)

綾高ブランドを地域活性化の
起爆剤に
～地域連携で中丹地域の
活性化を綾高から～

農芸

プロと競いプロに学ぶFinal!
目指せ日本一！次世代を担う
農業・環境のスペシャリスト

スペシャリストネットワーク京都の取組

府立高校1校1社連携事業・ハイスクール起業チャレンジ支援事業

- ・先端企業を高校サポートカンパニーとし、社員による特別講座やワークショップを実施
- ・地域産業と連携したインターンシップの充実
- ・職業学科が共同で、新たな商品ブランドを開発
- ・「高校生カンパニー」を設立し、企画・生産から販売まで、第6次産業を実践

取組内容(抜粋)

京都すばる：模擬会社を起業経営するハイスクールカンパニープロジェクト
南丹：小学校5・6年生対象の工作教室「キッズ5・6」の実施
農芸：企業等と連携し、京野菜を加工した商品開発・ブランド化
綾部（東）：農場生産物や加工品の即売会を実施
工業：オリジナルブランド「京の工」商品の開発・製作・販売
海洋：近隣水族館や鉄道会社等と連携し「魚魚駅舎」の展示運営
・スタンプラリー・海洋ブランド製品を販売

スーパーサイエンスネットワーク京都の取組

洛北

大学等との連携強化によるサイエンス教育の充実

宮津

ここにしかない学びが未来を拓く

西舞鶴

豊かな教養と科学的素養を備えた、未来をデザインできる人材の育成

福知山

主体的に考え、行動し、社会に貢献しようとする人材の育成

亀岡

Kameoka
Science Program

南陽

全校で取り組む地域連携型アクティブラーニング

桃山

探究活動を通じたアクティブ・ラーニングの推進

桂

研究活動を通して学力を身につけ、探究心と表現力を養う教育活動

嵯峨野

科学領域における高大連携によるグローバル人材の育成

独創的な科学研究により世界をリードできる人材の育成

スーパーサイエンスネットワーク京都の取組

大学研究室連携事業(スクールラボ)

大学の研究者等を外部講師として活用し、生徒の研究活動やプレゼンテーションの手法、サイエンスの分野における英語によるコミュニケーション方法などを指導することにより、理数系の分野において世界で活躍できる知識や技術、コミュニケーション能力を身に付ける。

探究型学習による年間を通した研究活動

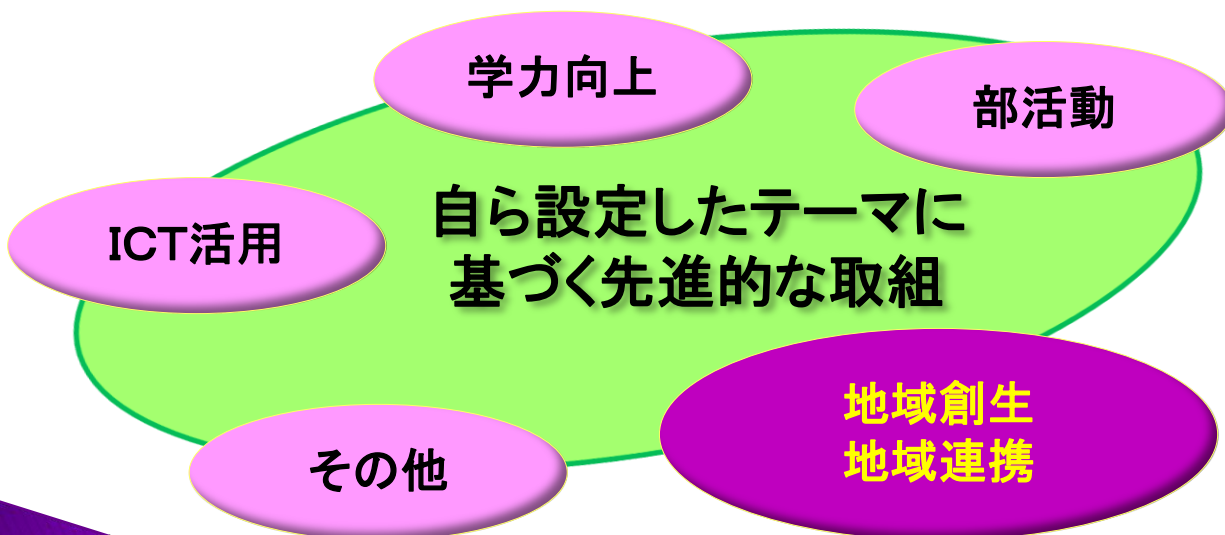
京都サイエンスフェスタの開催(合同発表会)
6月18日 京都大学【口頭発表】
11月11日 京都工芸繊維大学【ポスター発表】

京都フロンティア校の取組

京都フロンティア校28校

清明・鴨沂・北稜・朱雀・洛東・北嵯峨・**北桑田**・東稜・**洛水**・**向陽**・乙訓・西乙訓・城陽・**京都八幡**・久御山・**田辺**・**木津**・**須知**・**綾部**・福知山(三和)・**大江**・**東舞鶴**・東舞鶴(浮島)・宮津(伊根)・**加悦谷**・**網野**・網野(間人)・**久美浜**

※**地域創生推進校**…特に**地域創生**、**地域連携**に重点的に取り組む学校



学校がそれぞれの特色に応じた
テーマを設定

地域連携や部活動の活性化など、
自ら設定したテーマに基づく
先進的な取組を実施

「魅力ある学校づくり」により、
学校の特色化・活性化を推進

京都フロンティア校の取組

取組内容(抜粋)

学力向上

- ・「洛東アカデミア」地域の教育資源を活用した学習を実施（洛東）

ICT活用

- ・生徒を主体としたICT活用による探究型教育の実践（乙訓）
- ・清明ICT「みらい」プロジェクト（清明）

地域創生推進校

- ・地域創生プロジェクト 美山・京北まるごとキャンパス（北桑田）
- ・学校林「ウィードの森」をさまざまな事業を通じて地元で紹介（須知）
- ・ユネスコ世界記憶遺産の「舞鶴」そして「東舞」の魅力発信（東舞鶴）

／ 府立高校生の夢★を叶える ／

確かな学力を身につけるための支援事業

- 府立高校実力テストの実施
- 府立高校「セカンドラーニング教室」設置
- 基礎学力補習、進路補習、学習合宿
- 大学連携教育プログラム
- 大学生教育ボランティア活用事業

明日の京都を担う高校生育成支援事業

- 主権者としての高校生育成支援事業
- 新入生アシストセミナー
- 社会的素養育成支援事業
- わたしの未来づくり支援事業
- 高校生地域とつながる事業

グローバル人材育成支援

○府立高校生グローバルチャレンジ事業

- ◆エディンバラ、オーストラリア等での短期語学研修への一部補助

○府立高校「海外サテライト校」事業

- ◆現地での学習を履修単位として認定するなど、安心して留学（2～4ヶ月程度）できる環境の確保と一部補助

○府立高校生グローバル文化カフェ事業

- ◆教育旅行等で訪日した外国人高校生との「おもてなし文化交流」



伝統文化・京の文化力

○高校生伝統文化事業

- ◆京都府にゆかりの深い茶道、華道、古典を通しての伝統文化学習

○高校生「京の文化力」推進事業

- ◆文化部の育成、京都府高等学校総合文化祭の開催等

府立高校特色化推進プラン取組状況

プラン【10の柱・方向性・具体案】		取組状況
① 質 の 高 い 教 育	○全校に最先端のICTを活用できる環境を整備 ・タブレット型端末や専用教材等の整備 ・ヘルプ機能も兼ねた情報教育アドバイザーの配置 ・生徒が使えるポータルサイトの導入	○清明高校でのタブレットを活用した学習活動実践②⑦～
	○府立高校でしか学べない特色ある教科・科目の開設	○鳥羽高校スーパーグローバルハイスクール指定②⑦～、「グローバル科」②⑨～ 「京都の風土・世界の風土」「日本企業アジア法人でのインターンシップ」 ○南丹高校「総合学科テクニカル工学系列」②⑦～ 地元パートナー企業(50社)によるキャリア教育 ○鴨沂高校「京まなび」②⑥～ 京都文化入門(1年)、京都文化演習(2年)、京都文化研究(3年)
	○入学から卒業までの生徒の学力状況・生活実態の変化の把握	○府立高校実力テスト実施 1、2年生で2回実施し学力の進捗状況等を確認、進路指導等に活用 生活実態調査を導入②⑥～
	○民間ノウハウを取り入れた新しい指導方法や授業の展開	○高校生学習チャレンジサポート事業②⑥～ 北部高校で進学予備校等のデジタルコンテンツを活用した学習指導実施 【②⑨・②⑧北部12校】 予備校等のノウハウを得るため予備校等での教員の研修実施 【全府立高校対象】
	○生徒一人一人の力を最大限伸ばすための新たな指導方法の実践 ・35人程度学級、少人数指導方法、大規模講座	○京都フレックス学園構想に基づく清明高校②⑦～ 「学びアンダンテ」を基本コンセプトに、様々な志望動機や学習経験を持つ 多様な生徒が、自分のペースに合った高校生活を送る高校 ○京都フレックス学園構想に基づく新設高校②⑩(予定) 自分のペースで「自立心・主体性」を身に付けることができる生徒のチャレンジを サポートする高校を新設(峰山高校弥栄分校校地) ○特別支援学校と連携した相談支援体制の充実 ○発達障害等のある生徒を支援するための特別支援教育支援員配置②⑤～【②⑨・②⑧4名配 置】 ○合理的配慮協力員の配置②⑧【②⑧小中高各1名配置】 ○聴覚障害のある生徒に対する学習補助システムを活用した授業導入②⑦～
	○北部地域の医療を担う人材の育成	○福知山高校附属中学校②⑦～ 北部の医療、教育等を支えるとともに世界で活躍できるなど 「グローバルに活躍する人間」を育成 ○きょうと介護・福祉ジョブネットと連携した介護・福祉人材確保・定着のため の出前授業、インターンシップ、教員セミナー

府立高校特色化推進プラン取組状況

プラン【10の柱・方向性・具体案】		取組状況
① 質の高い教育	○中高一貫教育の今後の在り方の検討	○福知山高校附属中学校㉗～【再掲】 ○南陽高校附属中学校㉘（予定）～
	○将来のスペシャリストを育てる職業系専門学科教育の充実 ・担い手の育成や職業につながる資格取得の推進	○職業系専門学科生徒の、授業の専門性に関連した資格取得の推奨 ㉘各学科ごとの資格取得・検定合格件数 農業1,050件・工業1,786件・商業2,595件・情報539件・水産1,063件・家庭58件 ・福祉21件 ○京都すばる高校のスーパー・プロフェッショナルハイスクール指定㉙～ 企業や大学、京都府警と連携した情報セキュリティ人材の育成
	○社会のルールやしぐみを学ぶシティズンシップ教育の充実	○法やルールに関する教育の充実㉙～【㉙・㉘指定校3校】 ○政治的教養を育む教育（主権者教育）の充実 模擬投票など実践事例等を記載した手引きを作成、配布。各学校の実施計画により実践【全府立学校で実施】
② 教職員の 資質向上	○特色化を具体化する新たな教職員配置方法の開発や加配措置	○幅広い分野（保健体育、理科、英語等）のスペシャリストの採用 ㉚採用予定2名、㉙2名、㉘2名、㉗6名
	○従来の方法にとらわれない教職員の採用と育成 ・幅広い分野のスペシャリストの採用	
	○時代の変化に対応した力量アップにつながる研修 ・民間力活用やOJTを充実させる仕組みづくり ・教職員の資質能力の向上に向けた、校種の枠を超えた研修	○高校生学習チャレンジサポート事業㉛～【再掲】 予備校等のノウハウを得るため予備校等での教員の研修実施 ○高大接続研究チーム㉜～ 国数英の若手教員を中心とした学習指導・進学指導の実践的研究
	○学校経営に参画する事務職員の育成	○学校事務職員研修の体系化を図り単位制履修制度を適用㉞～
	○各高校の特色に応じた教職員の認証制度の導入	○エキスパートティーチャー認証 ㉞1名、㉙2名
③ 府民の 信頼を得る 学校運営	○校内アセスメントや広報・企画など、学校裁量による新しい校内組織に応じた人的支援 ・校内アセスメントを主導する特別チームへの人員配置（チームリーダー等に対する授業時間の軽減など） ・ガンバル高校への応援、予算・人員措置 ・外部からの寄付の受入など、高校を支援する方策の検討	○母校応援ふるさと事業㉟～（予定） ふるさと納税制度を活用して、府立学校の取組を応援
	○学校運営の「見える化」推進 ・生徒による評価や学校教育モニター等の導入	○学校経営計画の策定、評価、公表、報告 ○学校評議員など第三者からの意見聴取等
	○「脱少年非行ワースト1」を目指した生徒指導体制の充実 ・中高連絡推進員の配置など中高連携した指導体制の構築	○法やルールに関する教育の充実㉙～【㉙・㉘指定校3校】【再掲】 ○警察と協力した非行防止教室等の実施 ㉜53校、㉗53校

府立高校特色化推進プラン取組状況

プラン【10の柱・方向性・具体案】		取組状況
④ 徹底した進路保障	○キャリア教育推進チームの整備 ・キャリアカウンセラーやキャリアアドバイザー等の常設 ・あらゆる機関と連携した進路指導体制強化（人員充実）	○京都労働局と連携強化しインターンシップ受入事業所情報を入手②⑤～
	○真の自立につなげるキャリア教育の実施 ・社会人として生きるために必要なスキルを身に付けさせる教育プログラムの確立 ・個に応じた教育プログラムの作成・実践	○わたしの未来づくり支援事業②⑧～ 外部人材を活用した進路実現セミナー、労働法令セミナー等の実施 ○子育て学習プログラム推進事業②⑥～ 「子育て学習プログラム」を活用した授業で、妊婦や幼児等と触れあったり子育て体験 を聞き、家族の大切さや子どもを生み育てる意義を学ぶ
⑤ 修学の支援	○交通不便地にある高校への施策 ・地域の公共交通機関と連携したスクールバスの運行 ・通学費や寮費の負担を軽減する補助制度の拡充 ・教育効果を高めるための寮の設置	○高校生学習チャレンジサポート事業②⑥～【再掲】 北部高校で進学予備校等のデジタルコンテンツを活用した学習指導実施 ○東舞鶴高校でのNPO法人によるスクールバス運行②⑤～ ○通学費補助制度の実施【②⑧66名】
	○それぞれの分野のスペシャリスト（専門職員）配置 ・外部人材を含めたチーム指導体制の整備とコーディネートする人材の配置 ・外部人材の活用や外部委託、事務職員の活用などによる教員の生徒と向き合う時間の確保 ・スクールカウンセラーの配置の拡充 ・放課後等の自学自習を支援する人員の配置	○清明高校における自立支援チーム設置とスクールカウンセラーの常駐配置②⑦～ ○まなび・生活アドバイザーの配置②⑦～【②⑨5名、②⑩3名】 ○府立高校セカンドラーニング教室設置事業②⑦～【②⑨3校、②⑩2校】 講師登録者等を活用し放課後等に自学自習を支援
⑥ 部活動の充実	○全国トップレベルのアスリートの育成	○幅広い分野（保健体育）のスペシャリストの採用【再掲】 ○競技水準の向上が見込める運動部の強化活動支援 ○運動部に地域の指導者を派遣
	○トッププレイヤー、指導者の特別コーチ招聘	
	○生徒が生き生きと輝く部活動の創設	
⑦ 土曜日の活用	○土曜日を活用した学校教育の充実 ・外部人材の活用や外部委託による新たな学力向上策の展開	○土曜授業の実施 ②⑨11校 ②⑩12校、②⑦12校、②⑥11校、②⑤8校 ○資格取得や進路実現に向けた講座の土曜実施 ②⑦38校、②⑥40校、②⑤44校
	○府立高校の人材活用や施設開放等による地域への貢献	
	○土曜日だからできる異年齢交流の推進（小・中学生、高齢者等）	

府立高校特色化推進プラン取組状況

プラン【10の柱・方向性・具体案】		取組状況
⑧ 多様な人間力の育成	○文化活動・芸術教育の充実（豊かな人間性の育成） ・拠点校方式による施設設備の重点整備 ・生徒の活動の場を広げる支援策の充実（経費補助など）	○高校生の文化財建造物保存修理現場見学⑳～【㉑・㉒2校】 ○郷土資料館での高校生による「民話等語り部」㉑～【㉑3校、㉒5校】
	○チャレンジ精神の育成 ・起業家支援や体験活動の充実 ・グローバル人材育成に向けた海外留学制度の拡充 ・職業系専門学科に学ぶ生徒の海外体験留学の実施	○1校1社連携や起業チャレンジ支援等スペシャリストネットワーク校の取組㉑～ ○エディンバラ、オーストラリア等への短期留学支援制度㉑～【㉑105人、㉒85人】 ○府立高校「海外サテライト校」事業㉑～【㉑17人、㉒11人】 現地の学習状況や出席日数等を配慮した2～4ヶ月程度の中期留学支援制度 ○スーパーグローバルハイスクールに指定された鳥羽高校の海外インターンシップ実施㉑～ ○農業科設定4校による台湾農業研修㉑～
	○「古典の日」にちなんだ京都らしい伝統文化事業の充実 ・学校独自の伝統文化等の取組への支援	○高校生伝統文化事業 茶道、華道、古典を通じて伝統文化を学習 【㉑ 茶道：全47校、華道：25校、古典：25校】 ㉑に事業拡充 → 「古典」分野を領域として新設 ㉑に事業拡充 → 文化歴史推進校6校を新たに指定
⑨ 発信力・広報力の強化	○府立高校への志願につながる生徒・保護者へのアプローチ ・パブリシティのより積極的な活用 ・中学校の退職校長等の高校への配置等による中高連携推進体制の整備	○スクールガイド作成㉑～ ○大規模商業施設での文化系部活動発表会実施 ○通学圏別合同説明会の内容拡充【全通学圏合計参加者数㉑約14,266名 ㉒約13,075名】
	○民間手法による各校広報活動の刷新	○広報番組の活用などマスコミへの積極的アプローチによる広報活動
⑩ 各校独自の施設設備の整備	○各高校の特色化に直結する施設設備の重点整備（学習指導、専門教育、部活動など） ・意欲を持って進学する生徒の「やる気」応援施設の整備 ・栄養管理の整った宿泊施設や寮の整備	○南丹高校工業実習棟整備㉑ ○鴨沂高校施設整備㉑～現在整備中 ・水泳競技（水球・シンクロ等）の拠点校として、温水プールの整備等、多様なニーズに応える教育活動を実現する新しい施設 ・歴史的・文化的価値の継承 ○清明高校新設㉑ 生徒の多様な志望動機や学習経験などに対応できる新しいタイプの高校 ・可動間仕切りにより分割等が可能な普通教室、多目的教室 ・地域開放型カフェテリア ○鳥羽高校室内相撲場新設㉑
	○生徒の居場所となる学習室の整備	○清明高校自習・読書スペース整備㉑ ○各高校でも空きスペースを活用した自習スペースを整備
	○災害等緊急時の生徒の安全確保のための設備等の整備	○学校施設長寿命化対策実施㉑～（予定） ○全ての高校の耐震工事を28年度中に完了 ○全ての高校にAEDを整備（7年ごとに更新）

府立高校特色化推進プラン～魅力あふれる46の特色～

検討会議名 府立高校特色化推進プラン検討会議
担 当 部 課 教育庁指導部 高校教育課

■現状と課題

社会情勢の変化、経済・雇用情勢の悪化、グローバル化・少子化などの進展などに伴い、高校教育を取り巻く環境が激しく変化している。また、高校等への進学率が98%を超え、中学生のほとんどが進学する中、生徒の学ぶ意欲や興味・関心、目的意識、進路希望などが多様化している。

現在、府立高校46校では、生徒の個性・能力を最大限に伸ばすため、教育システム・入試制度の見直しや、各校の魅力づくりを進めているところであるが、さらなる府立高校全体のレベルアップを図り、生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育を実践するため、各高校の特色化を推進することが必要である。

■達成したい具体的な目標

- 1 府立高校全体のレベルアップ
- 2 生徒に対するケアの充実
- 3 各高校の特色化推進

■プランの方向性～特色化を進める10の柱と方向性

柱	方向性や具体案
①質の高い教育	○全校に最先端のICTを活用できる環境を整備 ・タブレット型端末や専用教材等の整備 ・ヘルプ機能も兼ねた情報教育アドバイザーの配置 ・生徒が使えるポータルサイトの導入 ○府立高校でしか学べない特色ある教科・科目の開設 ○入学から卒業までの生徒の学力状況・生活実態の変化の把握 ○民間ノウハウを取り入れた新しい指導方法や授業の展開 ○生徒一人一人の力を最大限伸ばすための新たな指導方法の実践 ・35人程度学級、少人数指導方法、大規模講座 ○北部地域の医療を担う人材の育成 ○中高一貫教育の今後の在り方の検討 ○将来のスペシャリストを育てる職業系専門学科教育の充実 ・担い手の育成や職業につながる資格取得の推進 ○社会のルールやしぐみを学ぶシティズンシップ教育の充実
②教職員の資質向上	○特色化を具体化する新たな教職員配置方法の開発や加配措置 ○従来の方法にとらわれない教職員の採用と育成 ・幅広い分野のスペシャリストの採用 ○時代の変化に対応した力量アップにつながる研修 ・民間力活用やOJTを充実させる仕組みづくり ・教職員の資質能力の向上に向けた、校種の枠を超えた研修 ○学校経営に参画する事務職員の育成 ○各高校の特色に応じた教職員の認証制度の導入
③府民の信頼を得る学校運営	○校内アセスメントや広報・企画など、学校裁量による新しい校内組織に応じた人的支援 ・校内アセスメントを主導する特別チームへの人員配置（チームリーダー等に対する授業時間の軽減など） ・ガンバル高校への応援、予算・人員措置 ・外部からの寄付の受入など、高校を支援する方策の検討

	○学校運営の「見える化」推進 ・生徒による評価や学校教育モニター等の導入 ○「脱少年非行ワースト1」を目指した生徒指導体制の充実 ・中高連絡推進員の配置など中高連携した指導体制の構築
④徹底した進路保障	○キャリア教育推進チームの整備 ・キャリアカウンセラーやキャリアアドバイザー等の常設 ・あらゆる機関と連携した進路指導体制強化（人員充実） ○真の自立につなげるキャリア教育の実施 ・社会人として生きるために必要なスキルを身に付けさせる教育プログラムの確立 ・個に応じた教育プログラムの作成・実践
⑤修学の支援	○交通不便地にある高校への施策 ・教育効果を高めるための寮の設置 ・地域の公共交通機関と連携したスクールバスの運行 ・通学費や寮費の負担を軽減する補助制度の拡充 ○それぞれの分野のスペシャリスト（専門職員）配置 ・外部人材を含めたチーム指導体制の整備とコーディネートする人材の配置 ・外部人材の活用や外部委託、事務職員の活用などによる教員の生徒と向き合う時間の確保 ・スクールカウンセラーの配置の拡充 ・放課後等の自学自習を支援する人員の配置
⑥部活動の充実	○全国トップレベルのアスリートの育成 ○トッププレイヤー、指導者の特別コーチ招聘 ○生徒が生き生きと輝く部活動の創設
⑦土曜日の活用	○土曜日を活用した学校教育の充実 ・外部人材の活用や外部委託による新たな学力向上策の展開 ○府立高校の人材活用や施設開放等による地域への貢献 ○土曜日だからできる異年齢交流の推進（小・中学生、高齢者等）
⑧多様な人間力の育成	○文化活動・芸術教育の充実（豊かな人間性の育成） ・拠点校方式による施設設備の重点整備 ・生徒の活動の場を広げる支援策の充実（経費補助など） ○チャレンジ精神の育成 ・起業家支援や体験活動の充実 ・グローバル人材育成に向けた海外留学制度の拡充 ・職業系専門学科に学ぶ生徒の海外体験留学の実施 ○「古典の日」にちなんだ京都らしい伝統文化事業の充実 ・学校独自の伝統文化等の取組への支援
⑨発信力・広報力の強化	○府立高校への志願につながる生徒・保護者へのアプローチ ・パブリシティのより積極的な活用 ・中学校の退職校長等の高校への配置等による中高連携推進体制の整備 ○民間手法による各校広報活動の刷新
⑩各校独自の施設設備の整備	○各高校の特色化に直結する施設設備の重点整備（学習指導、専門教育、部活動など） ・意欲を持って進学する生徒の「やる気」応援施設の整備 ・栄養管理の整った宿泊施設や寮の整備 ○生徒の居場所となる学習室の整備 ○災害等緊急時の生徒の安全確保のための設備等の整備

■検討委員からの主な意見

- ・ 質の高い教育を進めていくためには、機器・施設の整備、教員の資質向上、さらには工夫した教育を推進するための教員配置が必要である。
- ・ 北部地域の医療の問題は深刻である。府立高校から医学部に生徒を送り出し、医師となって地元に戻ってくるという実績をつくり、医師を定着させなくてはならない。北部の高校に医学部進学コースの設置が必要である。
- ・ ICTは、子どもの視覚に訴えるという点で非常に効果がある。社会や理科でのイメージづくりなどにおいては、臨場感を持って理解できるなど効果も大きい。生徒自身が機器を活用してプレゼンテーション力を定着させることが大切である。
- ・ 高校入学段階での生徒の学力実態は大きく変化している。自校の生徒の学力実態を把握する上で、府立高校実力テストの活用の工夫がより必要になる。
- ・ 高校卒業後進学しない生徒が、自立して生活していくためには、高校教育の中で、ある程度のソーシャルスキルを習得させ、キャリア教育を充実する必要がある。基礎学力の向上は教職員が担い、ソーシャルスキル教育やキャリア教育は外部の専門家が担うなど、両輪で進めていくことも大切である。
- ・ 高校に入学してから、今後の生活や進路のことなどをきちんと指導してくれるキャリアアカウンセラーの配置が、府立高校の底力を上げていくことにつながる。
- ・ すでに何校かの高校では、特色化に向けた学校改革が始まっているが、今回の検討会議を受けて、さらに、各高校独自の改革に向けた「本気度」を示す必要がある。そのためには、改革を推進するための校務分掌が必要である。特に、若い世代の教員がその任を担い、推進力となる必要がある。ただし、特定の教員に負う形の改革は長続きしないので、組織的に取り組むことが大切である。
- ・ 学校改革にあたっては、大胆な発想が必要である。「どこから切っても同じ金太郎飴」のような府立高校の在り方を根本から見直し、高校が向かいたい方向性がクリアに見えるような大胆な改革が求められている。
- ・ 部活動で結果を出すには、やる気のある生徒、素質のある生徒がいて、熱心な指導者がいて、常時使用できる施設があることが必須となる。
- ・ 教育課程上、例えば、土曜日に授業をしようと思っても府立高校では実施できない。私立高校とは非常に大きな差がある。府立高校独自に規制緩和を行い、私立高校と同等のことができるようにする必要がある。
- ・ 寮の整備も必要だと思うが、保護者は自宅から通えることに安心感を抱かれる。北部地域では、18歳で家を出ることが多いが、15歳でとなると保護者としては不安もある。鉄道もバスも便数が少ないため、高校で部活動や勉強をしたくても、時間が制約される。私立高校のように通学バスなどがあれば、さらに子どもたちの選択の幅が広がっていく。
- ・ 高校の特色化を支える条件面の整備をもっと考えてほしい。あんしん修学支援制度によって、私立高校と府立高校の費用面での条件は同じようになりつつある。
- ・ 府立高校の強味は、地域性である。単にその地域にあるということではなく、地域の一員と認められる学校となっているかという視点で、教育成果を点検していく必要がある。
- ・ 学校だけで改革を進めるのではなく、保護者や中学校、地域、民間などによるサポート体制づくりが必要である。外部の力を学校改革に取り入れていくべきである。

平成29年度当初予算案の概要

教育委員会所管分

○重点施策

1. 子どもの貧困対策(学習・生活支援)
2. 学力向上対策(小・中学校)
3. 文化財保護対策(新たな枠組み創設)
4. 京都式「文化・歴史」教育(グローバル人材育成)
5. 共生社会の実現対策(特別支援教育の充実)
6. 教員の負担軽減対策
7. 府立学校施設の環境改善(老朽化対策等)

○その他の主要事業

予算案の規模

<教育委員会所管分>

平成29年度当初予算額 127,817,615千円

※平成28年度当初計上額(㉓2月補正込み) 187,630,728千円

対前年度比 △59,813,113千円(△31.9%)

(単位:百万円)

		㉓	㉒	増減	前年比	主な増減要因
予 算 総 額		127,817	187,630	△59,813	68.1%	
人 件 費 事 業 費	人 件 費	110,243	170,506	△60,263	64.7%	京都市権限移譲に伴う教職員人件費の減
	事 業 費	17,574	17,124	+450	102.6%	学校建設費の増
	学 校 建 設 費	3,441	2,737	+704	125.7%	
	重点・政策的経費	3,367	3,171	+196	106.2%	
	義務・経常的経費 (高校生修学支援含む)	10,766	11,216	△450	96.0%	

1. 子どもの貧困対策(学習・生活支援)

子どもの未来を守る事業費 ㊴ 425,982 (㊵ 392,421)

考え方

○不登校・いじめ・暴力行為等の問題行動、児童虐待の発生背景の一つに家庭の貧困問題がある。
○家庭の経済的環境に左右されず、子ども達が学力を身につけ、希望する進路を実現するためには、「教育・福祉・地域の連携」が重要
【課題】子どもに寄り添った学習・生活支援や家庭支援、福祉機関との調整役となる「まなび・生活アドバイザー(SSW)」や「スクールカウンセラー(SC)」の充実、地域ぐるみの学習サポートが必要

重点事業

① 「学校の教育力」で子どもの未来を守る ㊴ 384,532千円 (㊵ 357,695) +26,837

京都式「学力向上教育サポーター」事業

・貧困等の困難な家庭環境にある児童生徒を支援するため、教育と福祉の連携体制を整備

まなび・生活アドバイザー配置事業

・子どもに寄り添った学習・生活支援や家庭支援、福祉機関との調整役として配置
・小学校(21校)→退職教員(校長OB等)を常駐、中学校(20校)→社会福祉士を常駐

拡

「社会福祉士・臨床心理士」巡回派遣事業

・府内の小・中・高・特支、全ての学校において、社会福祉士(SSW)・臨床心理士(SC)が加わった「学校・福祉が連携したケース会議(児童生徒の具体的サポート方策を検討する会議)」を年3回以上実施できるよう「巡回派遣方式」を導入。併せて派遣回数大幅拡充
【従 来】拠点校配置 → 市町村が課題の多い要望校に重点派遣 ※学校間で偏りが発生
【新方式】拠点校配置 → 従来分+全ての学校に行き渡るよう巡回派遣(府教委がグリップ)
※派遣回数: 延べ㊵1,644回 → ㊴2,943回(+1,299回)

京都式「効果のある学校」推進事業

・困難な状況に置かれている児童生徒をはじめ、すべての児童生徒の基礎学力の充実と希望進路の実現を図る学校づくりを推進
・大学教授等の専門家チームによる学校支援(4中学校区で実施)

いじめ防止対策推進事業(スクールカウンセラー配置)、少年非行防止対策事業(まなび・生活アドバイザー配置)、保幼小連携

② 「地域力」で子どもの未来を守る ㊴ 41,450千円 (㊵ 34,726) +6,724

拡 地域未来塾開設支援事業

・大学生・教員OB等地域住民の協力による学習支援 ㊵24中学校区・32箇所→㊴36学区・45箇所

新 訪問型家庭教育支援事業

・経済的困難等、様々な課題を抱える家庭に対し、家庭教育支援員(幼稚園教員OB)とまなび・生活アドバイザーが訪問し、保護者を支援

拡 不登校児童生徒対策事業

・府認定フリースクールの教育活動等に単費助成【新規】、不登校児童生徒支援モデル事業(国)

2. 学力向上対策(小・中学校)

効果の上がる学力対策事業費 ⑳ 126,234千円 (㉔ 96,516)
府市連携学力向上対策事業費 ㉑ 150,000千円 (㉔ 0)

考え方

○小・中学校児童生徒の「更なる学力アップを図る対策事業」の拡充
【状況】全国学力テストの実力低下:全国平均差(小6)㉑+2.3点→㉒+1.6点↓ (中3)㉑+0.9点→㉒+0.7点↓
【課題】・学校授業以外の学習充実が必要(家庭での勉強時間30分未満の児童・生徒割合が全国平均より高い。)・学習の基礎(数の概念・言葉の獲得等)となる「就学前教育の支援」が必要(小学校初期のつまづき予防)

重点事業

① 中学生学力向上対策

㉑ 66,100千円 (㉔ 56,100) +10,000

中1振り返り集中学習	・基礎・基本学習のつまづき解消を図る個別補習	学力低位層の生徒を対象
拡 中2学力アップ集中講座	・発展・応用学習に対応する学力定着を図る個別補習	学力中位+低位層に拡大 ㉔49校→㉑91校(1.9倍)
中1・2府学力診断テスト	・府独自テストによる学習内容・生活状況の把握、課題分析・抽出→授業改善の実施	
新 京都市学力向上学習システムの構築	・躓き部分と遡り復習が連動した自動学習計画システムの構築・実践→弱点克服指導	

② 小学生学力向上対策

㉑ 33,300千円 (㉔ 17,800) +15,500

拡 小4・5個別補充学習	・学習内容の高度化に対応する学力定着を図る個別補習	学力低位+中位層に拡大 ㉔72校→㉑186校(2.6倍)
小4府学力診断テスト	・府独自テストによる学習内容・生活状況の把握、課題分析・抽出→授業改善の実施	
新 京都市学力向上学習システムの構築	・躓き部分と遡り復習が連動した自動学習計画システムの構築・実践→弱点克服指導	

③ 就学前支援

㉑ 2,000千円 (㉔ 0) +2,000

新 保幼小等連携推進事業	・授業体験・保護者懇談により、未就学児の学力(語彙力・数の概念)や家庭状況を就学前に把握 等
--------------	--

その他の対策

・【新規】府市連携学力向上対策(府立高校教員(24名)を京都市立中学校(10校程度)に派遣【3年間】→市内中学生の学力向上)
・学力向上システム開発校(独自の学力向上プランに取り組む学校を公募指定(新規10校、継続10校))
・中学生読解力向上対策(小論文グランプリ)、理科教育推進事業(中学校理科の学力向上対策(観察・実験力))
・大学の先生に学ぼう体験事業(京大教授陣等による出前授業など) など

3. 文化財保護対策(新たな枠組み創設)

文化財保護緊急強化事業費 ⑳213,500千円(㉔55,500)

考え方

○近年、国内各地で地震・水害・火災等の災害が頻発化 → 文化財の破損・劣化・滅失の危険度上昇
○財政事情の厳しい地域の社寺等は、価値がありながらも管理不十分な文化財が潜在化 → 劣化・流出の懸念大
【課題】文化財を次世代に継承するため、適正管理・被災防止対策を講じることができる府保護制度の網を広げる取組が必要

重点事業

新文化財保護制度の枠組み拡大 → 条例改正により新たな登録文化財を創設

趣 旨	・府保護制度の枠組外にある「未指定有形文化財(建造物・美工品等)」を、被災・散逸防止の観点から早期保護を図るため、適正管理を促す「所有者規制」と「財政支援」の両面を備えた保護制度の枠組内に、「迅速」に取り込めるよう文化財保護条例を改正し、緩やかな登録基準の新たな文化財を規定。併せて防災対策補助メニューを追加。					
名 称	・暫 定 登 録 文 化 財 全国初					
制 度 概 要	文化財保護制度の種別		府保護制度の枠組内(条例で規定)		枠組外 未指定	
			指定	登録		新 暫定登録
	所有者規制	現状変更	許可制	届出制	届出制	規制なし
		所在変更・毀損・滅失等	届出制	届出制	届出制	規制なし
	財政支援 (補助上限額)	保存・修理補助	10,000千円	5,000千円	3,500千円	2,000千円
		維持管理補助	1,000千円	1,000千円	1,000千円	補助なし
		防災対策補助【新規】	300千円	250千円	200千円	補助なし
	指定に要する期間		5～10年(詳細調査・審議会要答申)		1～3年(審議会答申不要)	—
	指定・登録件数(年間)		㊹ 30件を目標(例年10件程度)		㊹ 1,000件を目標	—

拡適正管理・防災対策の強化等 ㉔ 213,500千円 (㉔ 55,500) +158,000(4倍増)

府指定・登録文化財 補助メニュー	新 暫定登録文化財緊急修理補助金 ㉔ 60,000千円 (㉔ 0)	新 防災対策補助金 (消火器・収蔵箱等の資機材) ㉔ 40,000千円 (㉔ 0)	拡 府指定・登録文化財保存修理補助金 (従前分) ㉔ 94,000千円 (㉔ 51,000)
---------------------	--------------------------------------	---	--

※未指定文化財現況調査 ㉔10,000千円(㉔ 0)、建造物・史跡・埋蔵文化財の活用等 ㉔9,500千円(㉔ 4,500)

4

4. 京都式「文化・歴史」教育 (グローバル人材育成)

京都式「文化・歴史」教育推進事業費 ㊴ 91,980千円 (㊵ 81,530)

考
え
方

○文化・歴史首都「京都」を、生徒自らが「英語」で発信・アピールできるグローバル人材を育成するため、京都文化・歴史に関する「知識」や「おもてなしの心・態度」、「外国語コミュニケーション能力」等の豊かな教養修得を目指した京都式「文化・歴史」教育を小・中・高を通して実施
【課題】・グローバル化が加速する中、京都人としての知識・教養を備え、世界で活躍できる次世代の若者の育成が必要
・2020東京五輪、文化庁の京都移転を見据え、京都が持つ文化・歴史の魅力を国内外に強力に発信する取組が必要

重点事業

① インプット 【文化・歴史を知る！触れる！学ぶ！】 ㊴ 47,550千円 (㊵ 45,000) +2,550

拡	KYO発見 仕事・文化体験事業【小・中】	・仕事や職場、伝統文化体験の実施学校に助成	伝統文化体験に「和装・算盤」等の新たなメニューを追加
	こころを育む古典の日推進事業【小・中】	・源氏物語等の伝統的な言語文化(古典作品)の朗読・暗唱大会の実施など	
拡	高校生伝統文化事業【高校】	新 ・「文化歴史推進校(6校)」をモデル校指定 → 2020オリパラ目途に全校波及 (例)仁和寺・光明寺等の歴史的建造物修復現場のフィールドワークや英語ガイド 和装の製作・デザイン発表会などの伝統産業学習	
	高校生「京の文化力」推進事業【高校】	・茶道・華道・古典の伝統文化学習(茶道:全校実施、華道・古典:各20校程度)	
		・文化系部活動の指導強化、高校文化部による小中学校・地域文化行事への支援	

② アウトプット 【留学先で文化・歴史価値発信！】 ㊴ 44,430千円 (㊵ 36,530) +7,900

拡	府立高校「海外サテライト校」事業	中期(約3ヶ月)の海外留学に助成(米・加・豪) ※留学PG交流事業で文化・歴史を英語で語る	留学生徒の倍増(㊵10人→㊴20人)
拡	府立高校生グローバルチャレンジ事業	短期(約3週間)の海外語学研修等に助成 ※研修PGで文化・歴史を英語で語る	留学生徒の増(㊵85人→㊴105人)
	府立高校生グローバル文化カフェ事業	京都を訪れる外国人旅行者・高校生に対し、府立高校生が「英語」による文化おもてなし 交流を実施【国内に居ながら留学体験】(例)英語観光ガイド、外国人向け茶道教室など	

5. 共生社会の実現対策 (特別支援教育の充実)

新設特別支援学校整備推進費 ㊴ 447,960千円(㊵ 62,371)
地域共生型支援学校推進事業費 ㊴ 1,000千円(㊵ 0)
羽ばたけ就労支援事業費 ㊴ 2,500千円(㊵ 0)
八幡支援学校職業学科設置準備費 ㊴ 3,200千円(㊵ 0)

考え方

○共生社会の実現に向けて
・障害の有無に関わらず同じ場所で共に学ぶ教育(インクルーシブ教育)の推進
・特別支援学校における「職業的自立に向けた教育」の充実が必要
【課題】府立特別支援学校卒業生の企業就労率の向上 (全国平均28.8%→府25.8%(△3.0ポイント))

重点事業

新設特別支援学校関連事業 ㊴ 448,960千円 (㊵ 63,371) +385,589

新設特別支援学校建設事業(井手地区)	・造成工事(295,000千円)、校舎実施設計(103,280千円)、埋文調査(49,680千円) ＜新設学校の基本構想＞ ・山城地域全体の児童生徒数の将来増に抜本的に対応する学校規模(200人規模) ・小中学校との交流・共同学習などインクルーシブ教育推進の基礎となる環境整備 ・障害のある子ども一人一人の自立と社会参加を目指した教育内容 ・特別支援教育センター的機能の充実(教育相談・研修支援等)
地域共生型支援学校推進事業	・H32. 4月の新設校開校に備え、インクルーシブ教育ネットワークの構築(1,000千円)

新 羽ばたけ就労支援事業(特別支援学校「京のしごと検定」実施事業) ㊴ 2,500千円 (㊵ 0) +2,500

目的	・業界団体と連携した「京のしごと検定」の導入により、特別支援学校生徒の就労意欲・企業就労率の向上を目指す。				
概要	・生徒の職種別専門的技能を客観的に評価するシステム(京のしごと検定)の構築				
	作業種	「清掃」	「接客」	「介護」	「パソコン実務」
	連携先	京都ビルメンテナンス協会	ルビノ京都堀川	ケアスクールリエゾン	日本情報処理検定協会
検定の流れ	①検定開発(連携先と共同)→②指導支援(連携企業の実技指導)→③技能検定→④認定(到達度により1～10級で評価)				

新 八幡支援学校「職業学科」設置準備事業 ㊴ 3,200千円(㊵ 0) +3,200

設置年度	設置校	設置内容(普通科単独校→職業学科併設校に再編)	職業学科定員	教育内容
H30年度	八幡支援	普通科2コース→普通科1+職業学科1(福祉科(仮))	10名(2学級)	介護福祉の知識・技術の修得

6. 教員の負担軽減対策

京都式「チーム学校」推進費 ⑳ 13,000千円 (㉔ 0)

考え方

【課題】教員が子どもと向き合える時間を十分に確保するため、教員の担うべき本来業務に専念できる環境を整備し、「長期間労働という働き方の改善」が必要
→そのため、「学校」と「教育委員会(府・市町村)」が連携し、総合的な教員の業務改善を推進する「重点モデル事業」を実施

重点事業

新 京都式「チーム学校」推進事業 ㉔ 13,000千円 (㉔ 0) +13,000

目的	・重点モデル地域を指定して、教員の業務改善対策を実施し、勤務時間の変化や専門スタッフの配置効果等の実践研究を行い、その具体的な成果を広く府内の教育委員会・各学校に発信・普及	
概要	学 校 → 業務改善対策の実践 教育委員会(府・市町村) → 分析研究 連携 ・勤務実態の把握、業務時間の管理徹底 ・部活動における負担軽減 ・専門スタッフ等との連携・分担、学校チーム体制の構築 ・教職員の意識改革 ・学校マネジメント強化等の研修 ・業務改善ポリシーの策定・フォローアップの徹底 ・教員の本来行うべき業務の明確化 ・勤務時間の変化・負担感の改善状況の把握 ・創出した時間による教育面での効果 ・優れた成果を府内に普及	
モデル地域	・小学校、中学校 → 4市町村程度を重点モデル地域に指定 ・高等学校 → 府立高校(1校)をモデル校に指定	

7. 府立学校施設の環境改善 (老朽化対策等)

府立学校施設整備費 ㉮ 3,440,424千円(㉸ 2,735,977)

考え方 ○府立学校施設の耐震化対策が完了したことから、懸案である老朽化対策にシフトし、安心・安全で良好な教育環境を確保するとともに、時代の教育ニーズに対応する施設整備を実施

重点事業

① 老朽化対策 ㉮ 2,886,364千円 (㉸ 1,856,000) +1,030,364 <耐震化完了 ㉸796,906>

拡 老朽校舎等改修	・全府立学校の2/3が築30年以上を経過 ・老朽化の著しい施設・設備を中心に、安心・安全対策を最優先とした上で、教育効果を高める機能向上の観点を踏まえた改修を実施【予算増額】 ・トイレの洋式化・乾式化改修に着手。衛生環境を改善【新規】	㉮448,610千円 (㉸ 300,000) +148,610
鴨沂高校校舎改築	・昭和8年建築で老朽化が著しく、耐震指標も低いことから、校舎改築等を実施	㉮2,337,754千円(㉸ 1,456,000) +881,754
府民公募型整備事業	・府民提案による安心・安全対策を実施	㉮100,000千円 (㉸100,000) ±0

② 教育ニーズ対応 ㉮ 483,750千円 (㉸ 62,371) +421,379

新 南陽高校・中高一貫教育の導入 (既存校舎の施設・設備改修等)	・府南部初となる公立中高一貫校を南陽高校にH30設置 ・中高一貫教育を通した未来社会を創るリーダーの育成【教育の柱】 ①探究心・創造力を育てるサイエンス教育 ②コミュニケーション力・思考力を育てるグローバル教育 ③志を有し品格のある人間を育てるフィロソフィー教育	㉮ 35,790千円(㉸ 0) +35,790
新設特別支援学校建設事業 (井手地区)【再掲】	・山城地域の生徒数増に抜本的に対応する特別支援学校を新設整備 (造成工事・校舎実施設計・埋文調査)	㉮447,960千円(㉸ 62,371) +385,589

※舞鶴支援学校「北吸校舎」解体費 70,310千円(㉸ 4,800)

○ その他の主要事業

① 高校生等修学支援事業

⑳ 6,007,505千円 (㉔ 6,181,677)

- 公立学校「授業料無償化」就学支援金(3,880百万円)
- 高等学校等修学資金貸付事業(1,578百万円)
- 奨学のための給付金(低額所得世帯の授業料以外の教育費負担軽減)(520百万円)
- 高等学校生徒通学費補助など(30百万円)

② 歴史的建造物等保存伝承事業

⑳ 1,743,407千円 (㉔ 1,636,296)

- 社寺等所有者の委託により府教委が実施する国宝・重文建造物の保存修理工事 など
(㉔実施) 知恩院(国宝・重文)、光明寺(国宝)、清水寺(国宝・重文)、平等院(国宝)
教王護国寺(国宝)、仁和寺、裏千家住宅、黄梅院、賀茂別雷神社、本隆寺の10箇所
※知恩院・光明寺の2箇所に債務負担行為を設定し、複数年工事を実施

③ いじめ・不登校・非行防止対策【再掲】

⑳ 315,747千円 (㉔ 324,252)

- スクールカウンセラーや心の居場所サポーターの配置、いじめ対策24H電話相談 等
- 府認定フリースクール連携推進事業【新規】、不登校児童生徒支援モデル事業(国委託)

④ 京のアスリート育成・強化総合推進事業

⑳ 246,500千円 (㉔ 246,500)

- 国体選手・ジュニア選手の養成・強化、競技団体の活性化を図る競技力向上対策を実施

⑤ 府立高校特色化事業

⑳ 67,500千円 (㉔ 88,420)

- 生徒の個性・能力を伸長させる府立高校の特色化事業の実施(SGH校、SPH校等)

平成29年度当初予算(案)主要事項

◆ 重点事業

主 要 事 項	予算額	事 業 概 要	前年度 予算額	
子どもの未来を守る事業費	451,982	すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう、施策を推進	441,422	1
文化財保護対策の充実	1,992,407	京都府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る	1,692,704	2
京都式「文化・歴史」教育推進事業費	91,980	京都が有する伝統文化や歴史に触れることにより郷土愛を育み、文化歴史に興味を持つとともに、小中高を通じて得た知識、技術や礼儀作法をグローバルに発信できる人材を育成	81,530	3

1 京都の未来を創造する人づくりに向けた教育の推進

重 点 目 標 / 主 要 事 項	予算額	事 業 概 要	前年度 予算額	
1 質の高い学力をはぐくむ				
子どものための京都式少人数教育推進費	4,361,308	京の子ども・少人数教育推進費 4,098,243 小学校(3～6年生)及び中学校において、学校現場の状況に応じた少人数教育を推進 小学校低学年指導充実費 263,065 小学校1・2年生で2人の教員による指導	8,114,988	4
府市連携学力向上対策事業費	150,000	(新) 学力向上・問題行動改善のため、高校教員を京都市内中学校に派遣	—	5
京都式「学力向上教育サポーター」事業費	156,742	(拡) 子どもの学習・生活支援プラットフォーム事業 143,742 京都式「効果のある学校」推進事業 13,000	131,905	6
効果の上がる学力対策事業費	126,234	児童生徒に確かな学力が身につくよう、基礎基本の徹底や個別課題に対応した学力対策を実施 (新) 京都式「学力向上学習システム」の構築 1,000 (新) 学びと育ちを支える保幼小等連携推進事業 2,000 (拡) 小学生個別補充学習(ジュニア・わくわくスタ) 25,000 (拡) 中2学力アップ集中講座 20,000 中1振り返り集中学習「ふりスタ」 30,000 小・中学校学力診断テストの実施 23,400 中学生読解力向上対策 1,116 大学の先生に学ぼう体験事業 5,500 理科教育推進事業 8,000 学力向上システム開発校等 10,218	96,516	7

重点目標／主要事項	予算額	事業概要	前年度 予算額	
京都次世代グローバル人材育成事業費	261,330	英語教育人材育成強化事業 13,300 英語指導助手の配置 203,600 拡 府立高校生グローバルチャレンジ事業 26,500 拡 府立高校「海外サテライト校」事業 14,930 府立高校生グローバル文化カフェ事業 3,000	254,200	8
確かな学力を身につけるための支援事業費	41,972	高校生一人一人の能力・個性を伸ばすための学力と 学校生活の基礎・基本の向上と定着を図る 府立高校実力テスト 21,916 府立高校「セカンドラーニング教室」設置 事業 1,000 学習合宿、進路補習 等 17,393 大学生教育ボランティア活用事業 1,663	42,974	9
夢に応えられる府立高校づくり事業費	104,902	生徒に選ばれ、生徒の夢に応えられる特色ある府立 高校づくりを一層推進する。 スーパーグローバルハイスクール設置事業 17,000 スーパープロフェッショナルハイスクール設置事業 14,000 京都フロンティア校支援事業 17,100 地域創生推進校、京都フロンティア校の指定 スーパーサイエンスネットワーク京都 8,550 グローバルネットワーク京都 3,295 スペシャリストネットワーク京都 3,800 数学オリンピック等チャレンジ事業 3,755 高校生学習チャレンジサポート事業等 37,402	126,437	10

重 点 目 標 ／ 主 要 事 項	予算額	事 業 概 要		前年度 予算額
2 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ				
豊かな心を育てる教育推進事業費	29,681	拡 KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業 15,000 「京の子ども 明日へのとびら」作成費 等 14,681	22,450	11
読書活動推進事業費	5,000	調べ学習に役立つ図書を小・中学校、高等学校等に貸出	5,000	12
こころを育む古典の日推進事業費	1,000	小・中学生による朗読・暗唱大会等の開催	1,000	13
高校生伝統文化事業費	23,000	茶道や華道等を通して伝統文化学習を推進 新 文化歴史推進校の創設	20,000	14
高校生「京の文化力」推進事業費	8,550	府立高校文化部活動支援、京都府高等学校総合文化祭の開催	9,000	15
文化財保護緊急強化事業費	213,500	新 暫定登録文化財等緊急修理保護事業 100,000 拡 府指定・登録文化財保存修理事業 94,000 新 未指定文化財現況調査 10,000 建造物・史跡・埋蔵文化財の活用等 9,500 新 京都の史跡・埋蔵文化財活用事業 (5,000) 建造物保存修理現場公開事業等 (4,500)	—	16
歴史的建造物等保存伝承事業費 (一部再掲)	1,743,407	建造物保存修理受託事業 1,662,508 国指定文化財等保存修理・維持管理費補助金 57,000 祇園祭山他保存修理事業費等補助金 14,399 新 京都の史跡・埋蔵文化財活用事業 5,000 建造物保存修理現場公開事業等 4,500	1,636,296	17
埋蔵文化財調査保存事業費	45,000	確認調査の実施や市町村等が実施する調査等への補助	56,408	18
3 たくましく健やかな身体をはぐくむ				
運動部活動振興事業費	18,105	中学・高校の運動部に地域の指導者を派遣	27,430	19
食育推進事業費	5,500	食育の調査・研究と取組の普及	5,500	
薬物乱用ゼロ推進事業費	1,000	教員に対する薬物乱用防止教育推進事業の実施	3,200	

重点目標／主要事項	予算額	事業概要	前年度 予算額	
4 一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばす				
夢に応えられる府立高校づくり事業費 (再掲)	104,902	生徒に選ばれ、生徒の夢に応えられる特色ある府立高校づくりを一層推進する。	126,437	10
特別支援教育充実事業費	188,556	発達障害のある児童生徒を支援する非常勤講師を小・中学校に配置	224,883	20
府立高校特別支援教育支援員配置事業費	10,224	府立高校に在籍する発達障害等のある生徒への支援体制の整備のため、特別支援教育支援員を配置	10,032	21
共生社会実現事業費	501,063	「障害の有無に関わらず、様々な子ども達が同じ空間で学び地域とともに育つ」社会の実現に向けた取組を推進 地域共生型支援学校推進費 1,000 新設特別支援学校整備推進費 447,960 ^新 羽ばたけ就労支援事業費 2,500 特別支援学校職業教育等充実事業費 17,964 ^新 八幡支援学校職業学科設置準備 (3,200) 特別支援教育総合推進事業費 31,639	—	22
学びと育ちを支える保幼小等連携推進事業費 (再掲)	2,000	^新 保幼小等の円滑な接続を図るため、言葉の修得等に効果的な取組等の実施	2,000	23
未来のメダリスト創生事業費	6,000	東京オリンピックでのメダリスト誕生に向けた選手の育成	6,000	24
京のアスリート育成・強化総合推進費	246,500	国体等の競技スポーツの振興、ジュニア選手の育成及び「チーム京都」推進事業等	246,500	25
府民総合体育大会開催費	27,000	府民の生涯にわたるスポーツ活動の推進	27,400	
京都府版マスターズ大会開催費	9,700	^拡 京都府版マスターズ大会として、府民総体にマスターズ部門を設置し、大会を開催	8,700	26
5 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ				
京都次世代グローバル人材育成事業費 (再掲)	261,330	英語教育人材育成強化事業 13,300 英語指導助手の配置 203,600 ^拡 府立高校生グローバルチャレンジ事業 26,500 ^拡 府立高校「海外サテライト校」事業 14,930 府立高校生グローバル文化カフェ事業 3,000	254,200	8
夢に応えられる府立高校づくり事業費 (一部再掲)	17,000	スーパーグローバルハイスクール設置事業	30,000	
こころを育む古典の日推進事業費 (再掲)	1,000	小・中学生による朗読・暗唱大会等の開催	1,000	13
高校生伝統文化事業費 (再掲)	23,000	茶道や華道等を通して伝統文化学習を推進 ^新 文化歴史推進校の創設	20,000	14
高校生「京の文化力」推進事業費 (再掲)	8,550	府立高校文化部活動支援、京都府高等学校総合文化祭の開催	9,000	15

重点目標／主要事項	予算額	事業概要	前年度 予算額
明日の京都を担う高校生育成支援事業費	13,754	高校生の政治的教養、職業観等の社会的素養や地域交流活動など、社会の担い手となる意識・能力を育成 主権者としての高校生育成支援事業 2,945 新入生アシストセミナー 1,482 社会的素養育成支援事業 2,202 わたしの未来づくり支援事業 3,325 高校生地域とつながる事業 3,800	14,478
少子化対策総合戦略事業費	7,000	高校生に対し、子育て学習プログラムを活用した授業を推進	7,000

27

2 京都の力を活かして一人一人の学びを支える教育環境づくり

重点目標／主要事項	予算額	事業概要	前年度 予算額
6 安心・安全で充実した教育の環境を整備する			
京都式「学力向上教育サポーター」事業費（再掲）	156,742	子どもの学習・生活支援プラットフォーム 143,742 京都式「効果のある学校」推進事業 13,000	131,905
小学生個別補充学習実施事業費（再掲）	25,000	小学4、5年生で個別補充学習を実施（実施校を拡充）	10,000
府立高校「セカンドラーニング教室」設置事業費（再掲）	1,000	中退等の防止のため、個別の学習指導を実施	1,000
地域未来塾開設支援事業費	10,110	中学生を対象とした原則無料の学習支援	6,726
訪問型家庭教育支援事業費	5,500	家庭教育支援員を配置し、小学校就学後を見据えた家庭教育支援を実施	—
いじめ防止対策等推進事業費	301,400	いじめ防止対策をはじめ、不登校や問題行動への対応など総合的サポート体制を充実 いじめ未然防止・早期解消支援チーム設置 1,000 規律ある行いを実践する教育推進事業 1,000 スクールカウンセラー配置など相談体制の構築 232,016 24時間電話相談等の実施 28,876 ネットいじめ対策 7,818 いじめ早期対応緊急指導教員の配置 — いじめ危機管理チームの派遣 1,000 いじめ対応のための附属機関の設置 1,000 不登校児童生徒支援モデル事業 22,840 フリースクール連携推進事業 3,000 ふれあい宿泊学習 2,850	310,905

6

28

28

28

28

29

重点目標／主要事項	予算額	事業概要	前年度 予算額	
少年非行防止対策事業費	14,347	児童生徒の暴力行為等問題行動の早期解決を図るため、未然防止の観点から対策を実施 「まなび・生活アドバイザー」の配置 13,347 PTAと連携した研修会の実施 1,000 生徒指導緊急指導教員の配置 —	13,347	30
地域ぐるみの学校安全体制整備推進等事業費	6,438	スクールガード・リーダーによる巡回指導等 2,200 実践的安全教育の総合支援 2,500 学校安全教室指導者講習会の実施等 1,738	4,500	31
府立学校施設整備費	3,440,424	新設特別支援学校整備推進費 447,960 府立学校校舎等整備費 2,443,854 鴨沂高校校舎整備、南陽高校校舎整備等 府立学校老朽校舎等改修 448,610 府民公募型整備事業費 100,000	2,735,977	32
高校生等修学支援事業費	6,007,505	高校生への奨学給付金の支給、修学資金の貸付、就学支援金制度による授業料の免除 等 高等学校等修学資金貸与 等 1,597,296 高等学校生徒通学費補助 6,500 奨学のための給付金 520,090 「学び直し」応援事業 3,564 公立高校就学支援金事業 3,880,055	6,181,677	33
7 学校の教育力の向上を図る				
子どものための京都式少人数教育推進費（再掲）	4,361,308	学校現場の状況に応じた少人数教育の推進 等	8,114,988	4
京都式「チーム学校」推進費	13,000	⑨ 業務改善の取組をモデル地域（校）で実施	—	34
学びと育ちを支える保幼小等連携推進事業費（再掲）	2,000	⑨ 保幼小等の円滑な接続を図るため、言葉の修得等に効果的な取組等の実施	2,000	23
教職員研修費	64,000	教員の指導力向上、いじめ、非行防止への対応力向上、コンプライアンス研修等の実施	68,000	
集まれ未来の教員サポート事業費	3,000	教員を志望する学生ボランティア支援、教師力養成講座の開催	3,000	35
「教師力向上」地元パワー活用事業費	12,000	地元京都の大学や企業と連携した高度な研修	12,000	36

重点目標／主要事項	予算額	事業概要	前年度 予算額	
8 すべての教育の出発点である家庭教育を支援する				
家庭教育支援事業費	3,276	学習資料の作成、家庭教育支援活動への助成	3,300	37
訪問型家庭教育支援事業費 (再掲)	5,500	⑨ 家庭教育支援員を配置し、小学校就学後を見据えた家庭教育支援を実施	—	28
京都式「学力向上教育サポーター」事業費 (再掲)	87,191	「まなび・生活アドバイザー」による家庭教育支援充実	87,191	
少年非行防止対策事業費 (再掲)	1,000	PTAと連携したネットトラブル防止研修会の実施	—	
9 地域社会の力を活かして子どもをはぐむ環境をつくる				
子どものための地域連携事業費 (一部再掲)	64,320	学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもを育てる体制づくりの推進 京のまなび教室推進事業費 35,915 地域で支える学校教育推進事業費 16,020 ⑩ 地域未来塾開設支援事業費 10,110 土曜教育推進事業費 2,275	70,664	38
地域ぐるみの学校安全体制整備推進等事業費 (再掲)	6,438	スクールガード・リーダーによる巡回指導等 2,200 実践的安全教育の総合支援 2,500 学校安全教室指導者講習会の実施等 1,738	4,500	31
運動部活動振興事業費 (再掲)	18,105	中学・高校の運動部に地域の指導者を派遣	27,430	
10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる				
府民総合体育大会開催費 (再掲)	27,000	府民の生涯にわたるスポーツ活動の推進	27,400	
京都府版マスターズ大会開催費 (再掲)	9,700	⑩ 京都府版マスターズ大会として、府民総体にマスターズ部門を設置し、大会を開催	8,700	26
文化財保護緊急強化事業費 (再掲)	213,500	⑨ 暫定登録文化財等緊急修理保護事業 100,000 ⑩ 府指定・登録文化財保存修理事業 94,000 ⑨ 未指定文化財現況調査 10,000 建造物・史跡・埋蔵文化財の活用等 9,500 ⑨ 京都の史跡・埋蔵文化財活用事業 (5,000) 建造物保存修理現場公開事業等 (4,500)	—	16
歴史的建造物等保存伝承事業費 (再掲)	1,743,407	建造物保存修理受託事業 1,662,508 国指定文化財等保存修理・維持管理費補助金 57,000 祇園祭山他保存修理事業費等補助金 14,399 ⑨ 京都の史跡・埋蔵文化財活用事業 5,000 建造物保存修理現場公開事業等 4,500	1,636,296	17
埋蔵文化財調査保存事業費 (再掲)	45,000	確認調査の実施や市町村等が実施する調査等への補助	56,408	18

平成29年度 府立高校研究指定校等 一覧

No	事業名	事業内容																								
		事業内容																								
		経費	学校数	※	国委託	国委託	国委託	国委託	国委託	国委託	国補助金	国補助金	国補助金	府単費	府単費	府単費	府単費	府単費	府単費	府単費	府単費	府単費	府単費	府単費	府単費	
山 城	4				◎						◎											◎				
2	清 明							○		○	◎											◎		◎	◎	
3	鴨 沂							◎			◎				◎							◎（金定）	◎	◎	○	
4	洛 北	◎									◎											◎				
5	北 稜										◎											◎				
6	朱 雀										◎	◎定										◎				
7	洛 東										◎											◎				
8	鳥 羽		◎								◎			◎							◎		◎		◎	
9	嵯峨野	◎	◎								◎				◎						◎			◎	◎	
10	北嵯峨										◎								◎				◎	○	○	
11	北桑田										◎			◎美山								◎（本・分校）	◎美山	◎（本・分校）		
12	桂	◎									◎				◎							◎	◎	◎		
13	洛 西										◎				◎					◎			◎	◎		
14	桃 山	◎						◎			◎				◎							◎				
15	東 稜							◎			◎				◎	○			◎				◎		◎	
16	洛 水										◎						○		◎				◎	◎	◎	
17	京都すばる			◎							◎											◎		◎	◎	
18	向 陽										◎				◎								◎	◎	◎	○
19	乙 訓										◎									◎			◎		◎	
20	西乙訓				◎						◎											◎	◎	◎		
21	東宇治					◎					◎					◎						◎				
22	菟 道										◎					◎						◎			○	
23	城南菱創				◎						◎											◎		◎	◎	
24	城 陽										◎											◎		◎		
25	西城陽										◎					○					◎		◎			
26	京都八幡										◎						◎	◎				◎（北・南）	◎（北）	◎（北）		
27	久御山										◎							◎					◎			
28	田 辺							◎			◎					◎							◎	◎	◎	
29	木 津										◎	◎											◎		◎	
30	南 陽										◎											◎		◎	◎	
31	亀 岡										◎										◎			◎	◎	○
32	南 丹										◎	○									◎		◎	◎	◎	
33	園 部					◎	◎				◎						◎					◎		◎		
34	農 芸										◎										◎		◎	◎		
35	須 知										◎										◎					
36	綾 部										◎							◎			◎東全	◎（東・分校）	◎東定		○	
37	福知山										◎			◎三和				◎三和	◎			◎（東・分校）	◎三和			
38	工 業					◎					◎										◎		◎			
39	大 江										◎	◎					◎	◎					◎			
40	東舞鶴				◎						◎	○						◎（東・分校）				◎（東・分校）	◎（本・分校）			
41	西舞鶴										◎										◎			◎通		
42	宮 津										◎			◎					◎伊根	◎			◎（東・分校）	◎伊根		
43	海 洋										◎										◎		◎			
44	加悦谷										◎				◎								◎		○	
45	峰 山										◎			◎弥栄								◎（東・分校）		◎弥栄		
46	網 野										◎							◎（東・分校）				◎（東・分校）		◎間人		
47	久美浜										◎										◎			◎		

※ 国立研究開発法人科学技術振興機構

◎：実施校（2年目以降）

○：実施校（1年目）